

第七十四回帝國議會 院 昭和十三年法律第六十四號中改正法律案(兌換銀行券ノ保證發行限度ノ臨時擴張ニ關スル件)外一件 委員會會議錄(速記)第五回

會議

昭和十四年三月十八日(土曜日)午前十時三十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 岡崎久次郎君

理事北原阿智之助君 理事世耕 弘一君

理事大野 一造君 理事坂田 道男君

松尾 四郎君 松田 正一君

清 寛君 小笠原三九郎君

武田徳三郎君 田川大吉郎君

出席政府委員左ノ如シ

大藏政務次官 松村 光三君

大藏參與官 矢野庄太郎君

大藏省主税局長 大矢半次郎君

大藏書記官 尾關 將玄君

陸軍主計大佐 大塚 彪雄君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

災害被害者ニ對スル租税ノ減免、徴收猶豫等ニ關スル法律案(政府提出)

登錄稅法中改正法律案(政府提出)

有價證券移轉稅法中改正法律案(政府提出)

關稅定率法中改正法律案(政府提出)

昭和七年法律第四號中改正法律案(輸入稅ノ從量稅率ニ關スル件)(政府提出)

臨時陸軍材料資金特別會計法案(政府提出)

出)

○岡崎委員長 是ヨリ開會致シマス、災害被害者ニ對スル租税ノ減免、徴收猶豫等ニ關スル法律案、登錄稅法中改正法律案、有價證券移轉稅法中改正法律案、關稅定率法中改正法律案、昭和七年法律第四號中改正法律案、臨時陸軍材料資金特別會計法案、此ノ六法案ヲ一括致シマシテ議題ト致シマス、

質疑ニ入ル前ニ一寸御協議ヲ申上ゲマス、

昨十七日松尾委員ノ質疑ニ對シテ大塚政府委員ノ答辯中、軍ノ行動ニ關スル部分ガ一寸アリマシタノデ、其ノ分ダケヲ會議錄カ

ラ掲載ヲ止メタイト云フ御申込ガアリマシタ、差支ハナイト存ジマスガ、皆サンノ御意見ヲ承リタイ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○岡崎委員長 ソレデハ其ノ通り致シマス、質問ヲ許シマス、世耕委員

○世耕委員 私ハ此ノ有價證券移轉稅法中改正法律案ニ付テ、二三點大藏省ノ御意向ヲ伺ツテ置キタイト思フノデアリマス、小

額國債ノ發行ニ伴ヒ、其ノ移轉ニ對シ有價證券移轉稅ヲ課セザルコトト爲スト云フ御

趣旨ハ、多分公債流通ノ圓滑ヲ圖ル、即チ公債消化ト云フコトヲ主眼トシテ、此ノ法

律案ガ出タヤウニ思ハレマスガ、左様デゴザイマスカ、先ヅ其ノ一點ヲ伺ツテ置キマ

ス

○大矢政府委員 有價證券移轉稅法ノ第九條第二號ニ於キマシテ、地方債證券、勸業

債券及ビ命令ヲ以テ指定スル社債券ニシテ

額面金額二十圓以下ノモノハ、有價證券移轉稅ヲ納ムルコトヲ要セズト規定セラレテ居リマス、此ノ有價證券移轉稅法ハ昭和十二年ニ制定サレタノデアリマスガ、其ノ當時ハ額面二十圓以下ノ國債ト云フノハナカツタノデアリマシテ、近キ將來ニ於テモ是ガ發行ヲ見ナイデアラウト云フノデ、國債ニ付テハ別ニ規定シテ居ナカツタノデゴザイマス、然ルニ御承知ノ通り昨年ノ八月ニ

二十圓以下ノ小額國債ヲ發行スルヤウニナリ、又今年モ近ク割引小額國債ヲ發行スル見込デゴザイマス、隨ヒマシテ、現在地方債證券、勸業債券ノ如キモノニ對シマシテハ、額面金額二十圓以下ノ場合ニハ本稅ヲ課稅シテ居リマセスカラ、是トノ權衡上國債ニ付キマシテモ、額面二十圓以下ノ小額債券ニ付キマシテハ課稅セザルコトトスル、斯ウ云フ見解ノ下ニ改正案ヲ提出致シタ次第デアリマシテ、國債全部ニ付テ本稅ヲ課

付託議案(審査終了ノモノヲ除ク) 災害被害者ニ對スル租税ノ減免、徴收猶豫等ニ關スル法律案(政府提出) 登錄稅法中改正法律案(政府提出) 有價證券移轉稅法中改正法律案(政府提出) 關稅定率法中改正法律案(政府提出) 昭和七年法律第四號中改正法律案(輸入稅ノ從量稅率ニ關スル件)(政府提出) 臨時陸軍材料資金特別會計法案(政府提出)

税シナイト云フ趣旨デハゴザイマセス、要スルニ此ノ種ノ小額ノ有價證券ノ移轉ニアリマシテハ、其ノ證券ノ性質上本税ヲ課税シナイノガ妥當デアラウ、斯ウ云フ趣旨カラデゴザイマス

○世耕委員 二十圓以下トシタ理由ハドコニアリマスカ

○大矢政府委員 從來不動産ノ賣買等ノアツク場合ニ於キマシテハ、或ハ國稅ニ於テ登録税ヲ課スルトカ、或ハ地方税ニ於キマシテ不動産取得税ハ課税セラレテ居ツタノデアリマスガ、有價證券ノ移轉ニ付キマシテハ、右ノ如キ流通税ハ課税シテ居ナカツタノデアリマス、然ルニ斯ノ如キ状態ヲ將來モ繼續シテ行クノハ、動産ト不動産トノ間ノ均衡ヲ失スルト云フ見地ニ立チマシテ、一昨年有價證券移轉税ガ創設セラレタノデアリマスガ、餘リ小額ノモノニマデ之ヲ課税スルノハ當ヲ得ナイダラウト云フ見地ニ立チマシテ、有價證券ノ中地方債證券、勸業債券ト云フ、比較的低利率ノモノニシテ小額ノモノニ對シテハ、本税ヲ課税シナイ方ガ宜カラウ、斯ウ云フ趣旨デアリマス、二十圓ト定メマシタノハ、別ニ的確ナル數字上ノ根據ハナイノデアリマスガ、大體二十圓以下ノ小額ノモノニ對シテハ、課税シナイ

方ガ穩當デアラウ、斯ウ云フ趣旨カラデゴザイマス

○世耕委員 モウ一ツ御尋シテ置キタイ、此ノ事變下ニ公債ノ消化ト云フコトニ御苦心ナサレテ居ル御當局ノ御努力ハ推賞ニ値スルモノガアリマスガ、是マデ大藏當局ノ執ツテ居ル公債消化ノ方針ノ根本ハ、ドコニアルカト云フコトヲ靜視シテ見マス、多クハ國民ノ貯蓄ト云フコトニ中心ヲ狙ツテ行ツテ居ルヤウニ思ハレルノデアリマス、果シテ貯蓄ノミヲ狙ツテ、今後多額ニ發行サルル公債ガ、消化シ得ラレルデアラウカドウカト云フコトヲ考ヘテ見ナケレバナラヌノデハナイカ、私ハモット論ヲ進メテ行クナラバ、公債ノ消化力ヲ貯蓄ニ求メルト云フヤウナコトハ、末梢的ナコトデハナイカ、歐羅巴ノ大戰後ニ於ケル公債政策ヲ觀イテ見マス、公債ノ増發ト云フコトガ、無論經濟的ニ或ハ國家ノ政策ノ上カラ問題ニハナリマスケレドモ、公債ヲ幾ラ發行シテモ、其ノ國內ニ於ケル資源ガ缺乏シテ居ツタナラバ何ニモナラヌ、寧ロ其ノ公債ヲ消化シ得ルノハ通貨デハナクシテ其ノ國ノ資源デアアル、資源ヲ更ニ區別シマスレバ、物ト勞働力ト此ノ二ツニ窮局ノ目的ガ達スルダラウト思フガ、斯ウ云フ點ニ付テ何カ

御考ニナツタコトガアルカ、公債政策ガ唯貯蓄ダケデ片付イテ行ケルカ、今日管理通貨ガ行ハレテ居ル場合ニ於テハ、通貨モ公債モ同ジコトニナツテ居ル、ダカラ公債ヲ幾ラデモ發行シテ、ソレヲ政府ガ皆ク收拾シテ、又公債ヲ發行スルト云フヤウナヤリ方ヲスレバ何ボデモ出來ル、ソレデハ行詰ラスト思フ、行詰ルノハ他ニアルト思フ、ソレダケデハ長期戰ノ準備ハ出來ルモノデハナイト思フ、其ノ意味ニ於テ、資源ノ開發ニ付テ努力モ大切デアリマスガ、同時ニ資源ノ根本ヲ成ス物ニ付テドウ云フ風ニ見透シヨ御立テニナツテ居ルカ、ココマデ狙ツテ行カナイト公債政策ガ徹底シナイデハナイカト思フガ、此ノ點ニ付テ大藏當局ノ御意見ヲ承リタイト思ヒマス

○松村政府委員 只今ノ御質疑ハ相當面倒ナ問題デアリマス、公債政策ガ貯蓄ノミデハ駄目デアルト云フコトハ御説ノ通りデアリマス、ソコドウスルカト云フ各般ノ問題ガ茲ニ生ズルノデアリマス、併シ管理通貨ノ場合ニ於キマシテモ、ヤハリ管理通貨ハ公債ニ對スル準備金ノ問題ニ專ラ主ナ關係ヲ生ズルノデアリマス、公債ヲ幾ラ出シテモト言ハレマスガ、制限外發行ヲ夥シク致シマスコトハ、懸テソレガ「インフレーション」ニナル、「インフレーション」ト云ヒマシテモ、私ノ申上ゲル「インフレーション」ト云フノハ、通俗ニ言フ「インフレーション」ト云フコトトハ少シ意味ガ違フノデスガ、結局サウ云フコトニナル虞ガアル、ソコデ公債ノ發行ハ消化ノ問題ノミナラズ、ヤハリ之ヲ通貨トシテ考ヘル時ニハ、公債ノ發行額ト云フモノハ適當ノ限度ニ之ヲ止メ

ル、一ツハ消化ノ問題、一ツハ通貨膨脹ヲ防グ意味ニ於テ、此ノ二ツノ方面カラ公債ノ發行限度ニ對シテ適當ナル制限ヲ置カナケレバナラヌト思フノデアリマス、ソコデ公債ハ幾ラ出シテモト言ハレマスガ、公債ヲ出シマシテ、各種ノ資源ヲ充實セシムルコトハ勿論必要デアリマス、ソコデ茲ニ四箇年計畫、生産擴充ノ問題ガ起リ、物資動員ノ問題ガ起ツテ來ルノデアリマス、此ノ方面ニハ最大ノ努力ヲ拂フノデスガ、資源ヲ公債ヲ以テドシク充實スルノモノ一ツノ政策デアリマス、併シ此ノ資源ガ直チニ結果ヲ生ムモノモアリ、如何ニ資源ヲ充實シマシテモ、非常ニ長イ年月掛ラナケレバ果實ヲ生マナイモノモアル、ソコデ此ノ資源ノ充實ニ付キマシテハ、餘程其ノ點ノ振合ヲ見テ、如何ナル資源ヲ如何ニ充實スルカト云フコトハ、ヤハリ國家財政ノ基礎ノ上ニ

關聯ヲ置イテヤラナケレバナラヌト思フノ
デス、詰リ結論ヲ申上ゲマスレバ、公債ヲ
幾ラデモ出セバ、資源ヲ昂揚スルコトガ出
來ルト直チニ結論致シマスコトハ、多少其
處ニ注意ト申シマスカ、研究ヲ要スル問題
ガ殘ルト思ヒマス、尙ホ資源開發ニ付キマ
シテ努力スルコトハ、モウ此處ニ申上ゲル
マデモナク、政府ハ全力ヲ擧ゲテ居ルノデ
スガ、ヤハリ勞働、技術、機械、資金、是
ハ豫算總會等ニ於テモ大藏大臣カラ申上ゲ
タノデアリマスガ、資金等問題ハ場合ニ依リマ
シテハ、左程困難ナル問題デナイト致シマシ
テモ、勞働、技術、機械ノ問題ハ、相當是
ハ難問題デアリマシテ、今日各般ノ資源、
生産擴充ガ出來ナイ大キナ原因ハ、資金ノ
問題ニアラズシテ寧ロ勞働、機械、技術、
是等ノ問題ニ餘程大キナ關係ヲ持ツテ居ル
ト思ヒマスルノデ、ソコデ公債デ資源ノ充
實ヲ何處マデモ圖ルト云フコトハ、必要ダ
ガ、實際問題ニ打突カリマスルト、机ノ上
デ考ヘテ居ルヤウニ資源ノ充實ガ出來ナイ
ト云フノハ、繰返シテ申シマスガ、公債ト
カ金トカノ問題デナク、他ノ方面ニ大キナ
ル原因ガアルト云フコトヲ考ヘマスルトキ
ニ、結局公債ノ發行トカ、資源ノ開發ト云
フコトハ、ヤハリ財政ノ關係ヲ見合フト同

時ニ、他方ニ機械、技術、勞働トヲ見合ハ
ナケレバナラヌノデアルト考ヘマスノデ、
只今ノ御説モ大體ニ於キマシテハ御同意ノ
コトト私モ考ヘテ居リマスガ、尙ホ只今申
シマシタヤウニ、多少ノ點ニ於キマシテ、
必ズシモ其ノ通りト御同意致シ兼ネル點ガ
アルノデハナイカト、斯ウ考ヘテ居リマス
○世耕委員 私ノ只今申上ゲタ點ニ付テ政
府委員カラノ御答辯ガアリマシタガ、誤解
ガアル點モアリマスカラ、附加ヘテ申上ゲ
タイト思フコトハ、實ハ今政府側ノ御答辯
ハ、即チ從來ノ經濟學ニ立脚シテ、所謂財
政學ニ立脚シテノ御答辯ノヤウニ思フノデ
アリマス、モウ今日日本ノ此ノ非常時下ニ
於ケル所ノ公債政策竝ニ物資ニ對スル根本
對策ト云フモノハ、從來ノヤウナ財政經濟
學ノ根本法則デハイカヌト云フコトヲ、吾
吾ハツキリ見テ居ルノデアリマス、ソコデ
私ハ細カイコトハ申上ゲマセス、結論ダケ
ヲ申上ゲタノデアリマス、質問ヲ致シマス
コトハ、或ル意味ニ於テ大藏御當局ニ御注
意ヲ喚起シタイト云フコトガ、失禮デアリ
マシタガ、實ハ希望デアツタノデアリマス、
結論ダケヲ更ニ申上ゲテ見マスルト、公債
ヲ消化スルト云フコトハ、今後ニ於テハ物
ナンデス、即チ物ノ中ニハ勞働力ト云フコ

トモ加味シテ私ハ申上ゲタイト思フノデア
リマス、ソコデ日本ニ於テ假ニ物ガ行詰ツ
タ場合ハ、即チ公債政策ノ行詰リデアル、
私ハ斯ウ思ツテ居リマス、ソコヲ餘程御考
置キヲ願ハナケレバナラヌ、例ヘバ獨逸ニ
於ケル公債政策ハ、獨逸ハ公債政策デ、殆
ド吾々ノ想像ノ出來ナイ位ノ數字ニマデ公
債ヲ發行シタ、ケレドモ結論ハ公債發行詰
ツテ居ラス、物ニ行詰ツタ、ソコヲ吾々ハ
考ヘタイ、サウ云フヤウナ下手ナコトヲヤ
リタクナイト私ハ思フカラデアリマス、重
ネテ申シマスルヤウニ、公債ヲ消化スルノ
ハ物ナンデス、ソコデ物ニ行詰ツテシマツ
タラ、公債ヲ幾ラ發行シテモ、結局公債ノ
數字ガ高マルト云フ以外ニ何モ無イト云フ
コトヲ、實ハ申上ゲタイトデアリマス、ダ
カラ公債政策ヲ唯貯蓄ト云フヤウナ末梢的
ナ問題ニ囚ハレナイデ、物ヲ土臺ニシテ公
債ヲ御考ニナラナイト云フト、今後ノ日本
ノ財政經濟政策ハ行詰ルノヂヤナイカ、之
ニ付テ何カ御考ガアルカ、斯ウ云フ意味デ
實ハ御尋シタヤウナ譯デアリマス、御答ガ
アレバ結構デアリマスガ、御答ガナケレバ、
其ノ程度ニ私ハ此ノ質問ヲ終リタイト思ヒ
マス

○松村政府委員 尙ホ誤解ガアルトイケマ
セヌカラ、一應御答致シマスガ、公債消化
ノ根本ハ物デアルト云フコトハ御説ノ通り
デアリマス、併シ獨逸ノ實例ヲ御引キニナ
リマシタガ、獨逸ノ如キハ公債政策ガ行詰
ツテ、極端ナ通貨ノ膨脹ノ結果、極端ナル平
價ノ切下、極端ナル新シキ貨幣制度ヲ設ケ
ナケレバナラヌヤウニナツタコトヲ考ヘマ
ス、勿論是ハ獨逸ノヤウニ戰爭ニ依ツテ極
端ナル疲弊ヲシタ國ト、日本ナドト比較ス
ル譯ニ行カヌコトハ言フマデモアリマセス、
ソコデ公債ニハ自ら限度ガアルノデ、獨逸
ノヤウナ極端ナル政策ヲ執ラズニ、日本ハ
日本ノ此ノ現狀ニ即シテ、現在ノ貨幣制度、
現在ノ爲替水準ヲ基準トシテ立ツテ行カウ
ト致シマスルノニハ、ヤハリ通貨ノ膨脹モ
或ル程度マデ避ケネバナラス、公債政策モ餘
程考ヘナケレバナラヌト云フコトヲ考ヘマス、
併シ公債消化ガ結局物デアルト云フコトハ御
説ノ通りデアリマスルカラ、資源ノ充實ト云フ
コトニ付テハ、出來ルダケノ非常ナル努力
ヲ拂ハナケレバナラヌト云フコトモ御説ノ
通りデアリマス、唯今日公債ヲドシ、出
シテ資源ヲ開發致シマシテモ、勞力、機械、
技術ノ關係カラ、事實上豫想ノ如ク資源ノ
開發ノ出來ナイト云フコトモ考ヘナケレバ
ナラヌ、ソコデ現在ノ日本ノ機械、技術、

勞力ノ限度ヲ見テ、サウシテ最大能力ヲ發揮シ得ル限度デナケレバ、生産擴充計畫モ事實上机上ノ計畫ニ了ルノミナラズ、其ノ生産擴充ヲヤリマシテモ、其ノ結果ガ、今日非常ナ生産擴充ヲヤツタモノガ、五年十年ト先ニ果實ヲ生ムモノモアルカラ、ソコデ當面ノ必要ナル生産擴充ニ全力ヲ舉ゲルガ、果實ヲ生ムコトノ遅イモノニ付キマシテハ、ヤハリ國家ノ財政ト通貨ノ前途ヲ見テ、サウシテ公債ヲ適當ニ按排スル必要ガアルト云フ趣旨デアリマシテ、大體公債消化ノ根本ガ物ニアルト云フ御説ニ對シマシテハ御同意申上ゲマスルガ、其ノ他ニ付キマシテハ、多少考へ方ガ違フ點ガアリマス

ノデ、重ネテ此ノ點ヲ御答申上ゲタイト思ヒマス
○世耕委員 大體諒承致シマシタ、凡ソ國家ノ財政經濟ヲ按排スル爲ニハ、特ニ此ノ非常時下ニ於テハ、最悪ノ場合ハ最善ノ方法ヲ執ルト云フコトガ、爲政者ノ執ルベキ態度デハナイカ、斯ウ云フ建前カラ實ハ申上ゲタノデアリマス、勿論日本ノ今日ノ經濟財政力ガ貧弱デアルト云フ建前カラ私ハ申上ゲタノデヤナイノデアリマス、事變ハ長期戦ニ入ツテ居ル、長期工作ヲシナケレバナラス場合ニ、萬一最悪ノ場合ニ當面シ

タトキニ、如何ニ處理スルカト云フ肚構へ、所謂肚ハ一通リ拵へテ置カクテハナラヌト云フ、窺極ノ土臺ニ付テ御話申上ゲタヤウナ譯デアリマスカラ、私ノ質問ニ依リマシテ、政府ノ御所信モ明ニナリマシタヤウデアリマスカラ、此ノ程度デ私ノ質問ヲ終ルコトニシマス
○岡崎委員長 他ニ一括サレタ法案ガ議題ニナツテ居リマスカラ、關聯質問ヲ願ヒマス——世耕君

○世耕委員 昭和七年法律第四號中改正法律案ニ付テ政府ニ御尋致シタイト思ヒマス、尙ホ關稅定率法中改正法律案ト一括シテ此ノ際御尋致シタイト思フノデアリマス、此ノ改正ニ依ツテ、從來日本ニ於ケル所ノ製油業者ガ被ムル損害ガ可ナリ甚大デアルト云フ、業者間ノ聲ガ相當高イノデアリマス、結論ヲ申シマスト、外國品ノ輸入稅ヲ低下サレルガ爲ニ、大勢ガ逆行シテ營業不振ニ陥ツテ、結局本邦製油業者ノ存立ヲ根本カラ破壊スルモノデアル、斯ウ云フ風ニ見テ居ルノデアリマスカ、此ノ點ニ對シテ政府御當局ハドウ云フ風ニ調和ナサレテ行ク積リデアルカ、此ノ點ヲ一ツ御説明ヲ願ヒタイト思フノデアリマス

ニ付テノ御話ノヤウデゴザイマスカ、今度無稅又ハ減稅致シマスマノハ、桐油デアルトカ、「ヒマシ」油デアルトカ、桐子油等デアリマスカ、桐油ハ日本ニ於テ左程困ルヤウナコトハ勿論ナイト思ヒマス、是ハ支那ノ特産品デアリマシテ、之ヲ輸入スルコトニ依ツテ製油業者ガ困ルト云フコトハナイト思ヒマス、桐子油ノ方ニ於キマシテモ、是ハ三割五分ヲ減稅スルト云フ程度デアリマシテ、寧ロ粗製品ヲ持ツテ來テ精製シテ需要ニ充テルト云フ方法モアルト思ヒマス、今一ツハ「ヒマシ」油ノ御話カトモ存ジマスカ、「ヒマシ」油ハ是ハ飛行機用ノ潤滑油デアルトカ、或ハ工業用ニ用ヒラレテ居リマス、即チ「カツチング・オイル」デアルトカ、擬革油デアルトカ、織物ノ仕上等ニ用ヒラレルノデアリマス、隨テ此ノ供給ト云フモノハ、最近激増致シマシタ本邦ノ需要ニ、十分ナル満足ヲ與フルコトガ出來ナイ状態ニナツテ居ルノデアリマス、ソレナノ「ヒマシ」油ノ原料デアアル蓖麻子ハ、御承知ノ通りニ日本ニハ全然ナイト云ツテ宜イ程度デアリマス、隨テ滿洲國カラモ入り、又第三國カラモ蓖麻子其ノモノガ少シ入ツテ居ツタノデアリマスカ、是等ノ輸入モ十分デゴザイマセヌ、今「ヒマシ」油ノ搾油業者ガ

困ツテ居ルト云フノハ、「ヒマシ」油其ノモノヲ無稅ニスルト云フヨリモ、蓖麻子ノ種ガ十分入ラナイト云フ所ニ大キナ原因ガアルノデアリマス、隨テ現在ニ於キマシテハ、「ヒマシ」油ヲ無稅ニシマシテ、之ヲ澤山入レルヤウニシテ、飛行機用ノ潤滑油等ノ軍用ノ需要ニ充テル、又工業用ノ需要ヲ充タス必要ノアルコトハ勿論デアルト思ヒマス、尙又此ノ「ヒマシ」油ヲ入レマシテ、「カツチング・オイル」等ヲ精製致シマシテ輸出シタイ、斯ウ云フモノガアリマスノデ、現下ノ貿易ノ情勢其ノ他カラ考へマシテ、斯ウ云フモノニ充テルト云フコトモ考へナケレバナラナイト思ツテ居ルノデアリマス、之ヲ要シマスニ、搾油業者ガ困ツテ居ルノハ、油ヲ無稅ニスルト云フヨリモ、其ノ種子ヲ入レルト云フコトニアルノデゴザイマスカ故ニ、「ヒマシ」油其ノモノヲ無稅ニ致シマシテモ、直接大ナル影響ハナイト存ジテ居リマス、尙ホ其ノ他胡麻子デアルトカ、荏胡麻子デアルトカ云フヤウナ油ノ原料ニナルモノハ、是ハ今度無稅ニ致スコトニナリマスカ、其ノ方カラ申シマシテモ、製油業者ニハ大ナル利益ガアルト存ジテ居リマス——尙ホ委員長ニ御願致シマスカ、一寸速記ヲ止メテ戴キタイト思ヒマス

○尾關政府委員 只今ノ御質問ハ、油全體

○岡崎委員長 ソレデハ一寸速記ヲ止メテ……

(速記中止)

○岡崎委員長 速記ヲ始メテ……

○世耕委員 第三國カラノ原料輸入ハ、今後ドウ云フ御方針デゴザイマスカ

○尾關政府委員 「ヒマシ」油ノ原料デアル蓖麻子ノ如キモノハ、第三國カラ輸入スルモノハ、勿論輸入出來ル限リ輸入スベキデアルト思ツテ居リマス

○世耕委員 是マデハドウ云フコトニナツテ居リマスカ

○尾關政府委員 是マデト雖モ「ヒマシ」油ノ原料タル蓖麻子其ノモノハ止メル考ハ持ツテ居リマセヌ、サウ云フヤウナ政策ハ執ツテ居ラナカツタノデアリマス

○世耕委員 私ノ聞イテ居ル範圍ニ依リマスト、第三國カラ「ヒマシ」油ノ原料モ輸入ノ制限ヲ受ケテ居ル、ノミナラズ滿洲國カラ入ル原料ハ、滿洲國政府ノ方針ニ依ツテ實ハ圓滑ニ行ツテ居ナイ、是ガ即チ「ヒマシ」油製油業者ニ大キナ打撃デアツタト、斯ウ云フ風ニ解釋シテ居リマセガ、間違ヒデゴザイマセウカ

○尾關政府委員 第三國カラ買付ケルノニ中々難カシクテ買ヒ得ナカツタ事情ハアル

デゴザイマセウガ、政府ト致シマシテ、斯ウ云フヤウナ重要ナル原料品ノ輸入ヲ止メルヤウナコトハ、考ヘテ居ナカツタノデアリマス

○世耕委員 能ク分リマシタ、尙ホ一點御伺シタイト思ヒマセガ、サウスルト滿洲國ハ「ヒマシ」油ニシテ日本ヘ輸入スル、斯ウ云フ方針デゴザイマスカ

○尾關政府委員 滿洲國ニ於キマシテハ「ヒマシ」油ヲ搾リマシテ、一部分ハ滿洲國デ使ヒ、一部分ハ日本ヘ送ルト云フヤウナ考デゴザイマス

○世耕委員 日本内地ヘ原料デ送ラセルト云フ方法ヲ御採リニナルコトハ御考ニナリマセヌカ、ソレハナゼカト申シマスト、油デ日本ヘ送ルヨリモ、寧ロ原料デ送ル方ガ經濟的デアリ、又一面業者ガソレニ依ツテ營業上利便ヲ得ルト云フ所ノ、二ツノ利益ガアルノデスガ、此ノ考ハドウ云フ風ニ御考ニナツテ居リマセカ

○尾關政府委員 原料デ日本ヘ或ル程度送ルト云フコトハ、只今申上ゲタ通りデアリマス、併シ全部原料デ送ルト云フコトハ、滿洲國ノ色々ノ政策モゴザイマスノデ、サウ云フ譯ニハ相成ラヌデアラウト存ジテ居リマス

○世耕委員 此ノ法律案ノ立案ノ御趣旨ハ、結局「ヒマシ」油其ノ他ノ油ヲ豊富ニスルト云フコトガ、根本方針デアルヤウニ吾ハ考ヘラレルノデアリマス、ソレニ一致スルヤウニ政策ヲ立テルコトハ、是ハ勿論ノコトデアリマスガ、滿洲國ノ特殊ナ所謂製油政策ニ依ツテ、從來保護關稅其ノ他ノ特別ナ國家ノ保護ニ依ツテ發達シテ來タ、日本ニ於ケル所ノ製油業者ヲ其ノ爲ニ壓迫スル、營業不振ニ陥レルト云フコトハ、此ノ際考ヘナクテハナラヌ問題デアルガ、此ノ點ニ付テ何カ政府トシテ特殊ノ途ヲ御考ニナツテ居リマスカ、此ノ點伺ツテ置キタイト思ヒマス

○尾關政府委員 只今世耕サンノ仰セノコトハ御尤デアルト存ジマスガ、此ノ「ヒマシ」油ノ稅金ヲ無稅ニスルト云フコトニ依ツテ、必ズシモ内地ノ製油業者ヲ壓迫スルト云フコトニハ、相成ラヌト思ツテ居リマス、ソレハ前申上ゲマシタ通りニ、今製油業者ガ内地デ困ツテ居ルト云フノハ、此ノ「ヒマシ」油ヲ無稅ニシテ、ドン／＼「ヒマシ」油ヲコチラヘ入レルカラトカ、入レナイカラトカ云フ問題ヨリモ、「ヒマシ」油ノ原料其ノモノガ手ニ入ラナイ、或ハ澤山是ガ入ルカ入ラナイカ、斯ウ云フ問題デゴザ

イマシテ、「ヒマシ」油ノ需要ハドン／＼激増シテ居ルノデアリマスカラ、若シ原料サヘ入りマスレバ、之ヲ無稅ニシテモ何等打撃ハナイノデアリマス、モウ一度言換ヘレバ「ヒマシ」油ノ關稅ヲ撤廢スル、シナイト云フコトハ、直接ニ「ヒマシ」油搾油業者ノ打撃ニナルトカ、ナラナイトカ云フ問題ニアラズシテ、問題ハ寧ロ他ニアルト思ヒマス、サウシテ其ノ他ニアルモノヲ如何ニスルカト云フコトハ、只今速記ヲ止メタ際ニ申上ゲマシタヤウナ方法デ講ジテ行キタイト思ツテ居リマス

○世耕委員 結局原料ノ問題ダラウト思フノデス、其ノ原料ガ手ニ入ラヌカラ業者ガ困ルノダ、而モ入ツテ居ツタ第三國方面ハ十分ナ手ガ伸ビテ居ナイシ、更ニ入ルベキ方法ガアツタノヲ、ソレモ今度ハ原料ガ色色ナ方面カラ制肘ヲ受ケルト云フコトデ、業者ガ困ル、ソコデ悲鳴ガ上ツテ來タノデアラウト思フノデアリマス、尙ホモウ一ツノ重要ナル點ハ、原料ハ入レナイ、今度ハ油ヲ入レルノダト云フコトニナルト、而モ其ノ油ガ無稅ニナルト云フコトニナルト、益、從來關係シテ居ツタ業者ハ競争ガ出來ス、ソコニ又營業不振ノ原因ガ與ヘラレテ來テ居ル、斯ウ云フコトニナル譯デス、此

○世耕委員 只今世耕サンノ仰セノコトハ御尤デアルト存ジマスガ、此ノ「ヒマシ」油ノ稅金ヲ無稅ニスルト云フコトニ依ツテ、必ズシモ内地ノ製油業者ヲ壓迫スルト云フコトニハ、相成ラヌト思ツテ居リマス、ソレハ前申上ゲマシタ通りニ、今製油業者ガ内地デ困ツテ居ルト云フノハ、此ノ「ヒマシ」油ヲ無稅ニシテ、ドン／＼「ヒマシ」油ヲコチラヘ入レルカラトカ、入レナイカラトカ云フ問題ヨリモ、「ヒマシ」油ノ原料其ノモノガ手ニ入ラナイ、或ハ澤山是ガ入ルカ入ラナイカ、斯ウ云フ問題デゴザ

○世耕委員 只今世耕サンノ仰セノコトハ御尤デアルト存ジマスガ、此ノ「ヒマシ」油ノ稅金ヲ無稅ニスルト云フコトニ依ツテ、必ズシモ内地ノ製油業者ヲ壓迫スルト云フコトニハ、相成ラヌト思ツテ居リマス、ソレハ前申上ゲマシタ通りニ、今製油業者ガ内地デ困ツテ居ルト云フノハ、此ノ「ヒマシ」油ヲ無稅ニシテ、ドン／＼「ヒマシ」油ヲコチラヘ入レルカラトカ、入レナイカラトカ云フ問題ヨリモ、「ヒマシ」油ノ原料其ノモノガ手ニ入ラナイ、或ハ澤山是ガ入ルカ入ラナイカ、斯ウ云フ問題デゴザ

○世耕委員 只今世耕サンノ仰セノコトハ御尤デアルト存ジマスガ、此ノ「ヒマシ」油ノ稅金ヲ無稅ニスルト云フコトニ依ツテ、必ズシモ内地ノ製油業者ヲ壓迫スルト云フコトニハ、相成ラヌト思ツテ居リマス、ソレハ前申上ゲマシタ通りニ、今製油業者ガ内地デ困ツテ居ルト云フノハ、此ノ「ヒマシ」油ヲ無稅ニシテ、ドン／＼「ヒマシ」油ヲコチラヘ入レルカラトカ、入レナイカラトカ云フ問題ヨリモ、「ヒマシ」油ノ原料其ノモノガ手ニ入ラナイ、或ハ澤山是ガ入ルカ入ラナイカ、斯ウ云フ問題デゴザ

○世耕委員 只今世耕サンノ仰セノコトハ御尤デアルト存ジマスガ、此ノ「ヒマシ」油ノ稅金ヲ無稅ニスルト云フコトニ依ツテ、必ズシモ内地ノ製油業者ヲ壓迫スルト云フコトニハ、相成ラヌト思ツテ居リマス、ソレハ前申上ゲマシタ通りニ、今製油業者ガ内地デ困ツテ居ルト云フノハ、此ノ「ヒマシ」油ヲ無稅ニシテ、ドン／＼「ヒマシ」油ヲコチラヘ入レルカラトカ、入レナイカラトカ云フ問題ヨリモ、「ヒマシ」油ノ原料其ノモノガ手ニ入ラナイ、或ハ澤山是ガ入ルカ入ラナイカ、斯ウ云フ問題デゴザ

○世耕委員 只今世耕サンノ仰セノコトハ御尤デアルト存ジマスガ、此ノ「ヒマシ」油ノ稅金ヲ無稅ニスルト云フコトニ依ツテ、必ズシモ内地ノ製油業者ヲ壓迫スルト云フコトニハ、相成ラヌト思ツテ居リマス、ソレハ前申上ゲマシタ通りニ、今製油業者ガ内地デ困ツテ居ルト云フノハ、此ノ「ヒマシ」油ヲ無稅ニシテ、ドン／＼「ヒマシ」油ヲコチラヘ入レルカラトカ、入レナイカラトカ云フ問題ヨリモ、「ヒマシ」油ノ原料其ノモノガ手ニ入ラナイ、或ハ澤山是ガ入ルカ入ラナイカ、斯ウ云フ問題デゴザ

ノ點ニ付テハ速記モ止メラレテ御説明ニナツタノデアリマスカラ、私ハ突込シテ御説明ヲ求メマセスガ、成ベク内地業者ノ行詰ラナイヤウニ、此ノ際出來ルダケノ便益ヲ講ジテ戴クコトヲ、是非共希望申上ゲテ置キタイト思フデアリマス

○尾關政府委員 御希望ノ點、即チ原料ガ十分ト申シマスカ、原料ガ出來ル限り搾油業者ノ手ニ入ルヤウニト云フ御希望ノ點ハ、出來ル限り當局ニ於テモ考ヘタイト存ジテ居リマス

○岡崎委員長 一寸只今ノ質問ニ關聯シタ問題デ、モウ少シハツキリ聽イテ置キタイトスガ、詰リ今ノ「ヒマシ」油ノ業者ハ、外國ヨリ原料ガ入ツテ來ナイノデ困ツテ居ルト云フ事實モ私聞イテ居ルガ、其ノ原料ハ先程ノ御話デ滿洲カラ幾分コチラヘ適當ナ方法ニ依ツテ輸入サレルコトニナツタノデアリマスカ、ナルノデアリマスカ、サウ云フコトガ出來ルノデアルカ、ソレカラ「ヒマシ」油ノ原料ガナイ爲ニ、此ノ「ヒマシ」油業者ハ困ツテ居ルノデアルカラ、「ヒマシ」油トシテ入ツテ來テモ困ルドコロデハナク結構ダ、斯ウ云フ意味ニ聽イテ宜イノデアリマスカ、ソコノ所ガ兩方混亂シテ居ルカラ、一ツハツキリ質シテ置キタイト思

ヒマス

○尾關政府委員 「ヒマシ」油ノ原料ハ滿洲國カラ今マデ入ツテ居リマシタノガ、昭和十三年ニ少シ數量ガ減リマシタ、併シ是カラ將來モ絶對ニソレヲ内地ニ入レナイ、斯ウ云フ譯デハナイノデアリマシテ、或ル程度マデハヤハリ入レル、斯ウ云フコトヲ考ヘテ、ソレヲドノ程度ニスルカト云フコトニ付キマシテハ、色々考ヘテ居ル、斯ウ云フコトヲ申上ゲタ譯デアリマス、ソレカラ尙ホ第三國カラノ種子ト云フモノハ、勿論入り得ルダケハ之ヲ入レルヤウニシナケレバナラナイト考ヘテ居リマス、ソレカラ其ノ種子ガ足リナイトシタナラバ、油ヲ入レタナラバドウ云フ影響ガアルカ、斯ウ云フ御尋デゴザイマシタガ、ソレハ油ヲ入レマシテ、之ヲ更ニ精製スルト云フ方法モアリマシテ、サウ云フ粗製油ヲ入レテ精製スルト云フヤウナコトヲヤリ得ル所ヘ、勿論好影響ガアル譯デアリマス、ソレカラ尙ホ此ノ改正全般カラ申シマスルト、胡麻子デアルトカ、荏胡麻子ト云フモノノ關稅ヲ無稅ニ致シマスノデ、サウ云フモノヲ原料ニ致シマシテ油ヲ搾ルト云フコトニ致シマスレバ、ソレハ今マデヨリ以上ニ利益ガ多クナルト云フコト勿論デゴザイマス

○岡崎委員長 分リマシタ尙ホ質疑ガアレバ月曜日ノ午前十時ニ行ヒ、終ツテ討論ニ入りタイト思ヒマス、本日ハ是ニテ散會致シマス
午前十一時二十二分散會